

吉 第五十番



有達宜更変

ゆうたつよろしくこうへんずべし

重山利政逢

じゅうざんり まさにあう

前途相偶合

ぜんとあいぐうごうす

財禄保享通

さいろくこうつうをたもつ

のぞむことあらば今までのしほうを改めるか他所へゆきてよし

山々は出なり他所にいでて利を得る又くろうといとわすば利を得る也

ゆくさきくにて仕合にあうべしゆくすえのことにもつうずべき也

さいほうも心のまゝなるべしかうつうとはうけつうずると読む

▼このみくじにあたる人は、たとえば苦しき山路をこす旅人のごとし、くらう、かんなん多けれども後かならずよかるべし▼病人いしやをかえるか、くすりをかえてよし▼待人おそし▼失物おそく出づべし▼えんだん、近き方よし▼たび立よし▼家うつり、ふしんゆるくしてよし▼人の相談にすぐのるべからず▼恥は木か糸に縁あることたるべし▼あきないはゆるく始めてよし▼あらそい事ひかえめにしてよし▼子は縁あつし、男の子は立身し女は孝行なるべし▼望ごとおいく成就す